

犬歯は迷走する？

1. 犬歯の特徴

犬歯は前歯では最も最後に萌えます。また、先に犬歯より後ろの小臼歯が萌えることが一般的です。さらに、最近のお子様は顎の骨の大きさが小さくなり犬歯が萌える時期には、犬歯が萌えるスペースが全くないことが少なくありません。



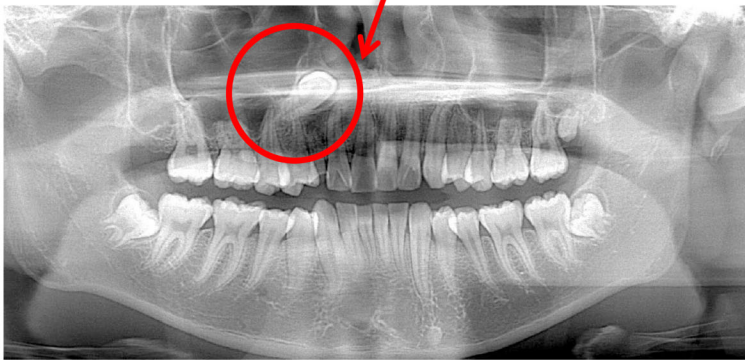
犬歯が異常な位置に萌えることは珍しくありません。重症な場合には、口の中に萌えてこない場合もあります。



2. 犬歯は色々な方向へ動く可能性がある？

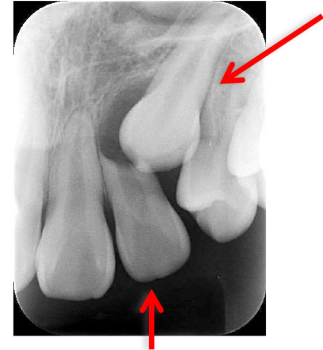
(例1 お口の中に萌えてこない場合)

鼻の方向を向いた犬歯



(例2 斜めに萌えて隣の歯を壊す場合)

萌える方向が斜めになった犬歯



根を溶かされた永久歯

3. 犬歯の迷走に早く気付く為に

犬歯が萌え変わる時期に正常な永久歯への交換が進んでいるか、しっかり観察することが、萌え変わり異常の早期発見に繋がります。萌え変わり異常に早期に気付けば対処できることもあります。また、仮に矯正治療が必要な患者様でも、萌え変わり異常の程度を軽度にしておくことで結果的に矯正治療に必要な費用を軽減することも可能です。乳歯から永久歯への交換については萌え変わりの正確な時期の把握や、全身的な成長状況、乳歯の萌えた時の状況から判断が可能です。正常な永久歯への交換が進むように、交換時期には小児歯科に慣れた歯科医師の元で交換を観察することをお勧め致します。

詳しくは当院へご相談ください



ふたぎ歯科医院

